

令和2年度

名寄地区衛生施設事務組合
一般会計歳入歳出決算審査意見書

名寄地区衛生施設事務組合監査委員

名 衛 監 第 3 号
令和 3 年 11 月 25 日

名寄地区衛生施設事務組合
管理者 加 藤 剛 士 様

名寄地区衛生施設事務組合
監査委員 鹿 野 裕 二
監査委員 山 崎 真由美

令和 2 年度名寄地区衛生施設事務組合一般会計歳入歳出決算審査意見について

地方自治法第292条の規定により準用する同法第233条第2項の規定に基づき審査に付された、令和2年度名寄地区衛生施設事務組合一般会計歳入歳出決算について審査しましたので、次のとおり意見を提出します。

目 次

1	審査の対象	1
2	審査の期間	1
3	審査の方法及び範囲	1
4	審査の結果	1
	(1)決算諸表について	1
	(2)決算の概要	1
	ア 歳 入	2
	イ 歳 出	3
	ウ 実質収支に関する調書	4
	エ 財産に関する調書	4
5	むすび	5
資 料 (提出された資料に基づき作成)		
	資料1 財源別構成別比較表	6
	資料2 構成市町村別負担金明細	6

(注) 文中及び各表中の比率等の用法は、次のとおりである。

(1) 「△」：負の値を示し、増減では減を表している。

(2) 比率(%)：算出については、小数点第2位を四捨五入している。

(3) 「0.0」：「当該数値はあるが、0.05未満のもの」を表している。

(4) 「－」：「当該数値なし、算出不能または無意味なもの」を表している。

(5) 上記のように処理した結果、文中及び各表中の数値とその内容の累計値とは一致しない場合がある。

(6) 執行率：予算現額に対する決算額の割合（決算額を予算現額で除した百分率）

(7) 対前年度増減：令和2年度数値から令和元年度数値を差し引いた値。

(8) 増減率：上記(7)の値を令和元年度数値で除した百分率。

1 審査の対象

- (1) 名寄地区衛生施設事務組合一般会計歳入歳出決算書
- (2) 決算付属書類(歳入歳出決算書事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書、証書類)

2 審査の期間

令和3年7月21日から同年11月19日まで

3 審査の方法及び範囲

名寄地区衛生施設事務組合の令和2年度一般会計歳入歳出決算書及び決算付属書類が、地方自治法等の関係法令に準拠して作成されているか、計数は正確か、さらに事務執行状況、予算執行状況及び収支は適正かなどに主眼を置き、提出された関係諸帳簿及び証拠書類等必要な資料に基づいて審査した。

4 審査の結果

(1) 決算諸表について

令和2年度一般会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、これらに表示されている計数は現金出納簿及び関係諸帳簿と符合しており、正確であると認めた。

(2) 決算の概要

令和2年度一般会計の決算総額は、歳入総額4億9,743万7,794円、歳出総額4億4,427万7,745円で、形式収支(歳入歳出差引額)は5,316万49円となり、翌年度へ繰越すべき財源がなかったことから同額が実質収支となった。決算の状況、決算の収支は表1及び表2のとおりである。

表1 決算の状況 (単位:円・%)

区 分	予 算 額				決 算 額	執行率
	当初予算額	補正予算額	繰越継続	予算現額		
歳 入	478,610,000	26,980,000	0	505,590,000	497,437,794	98.4
歳 出	478,610,000	26,980,000	0	505,590,000	444,277,745	87.9

表2 決算の収支 (単位:円・%)

区 分	年 度	2年度	元年度	対前年度比較	
				増減額	増減率
歳入決算額 A		497,437,794	516,076,304	△ 18,638,510	△ 3.6
歳出決算額 B		444,277,745	473,948,307	△ 29,670,562	△ 6.3
形式収支(歳入歳出差引額) C A - B		53,160,049	42,127,997	11,032,052	26.2
翌年度へ繰越すべき財源 D		0	0	0	—
実質収支 E C - D		53,160,049	42,127,997	11,032,052	26.2
単年度収支 E - 前年度E		11,032,052	△ 8,465,750	19,497,802	230.3

ア 歳入

歳入の款別決算状況は、表3のとおりである。

款別の調定額は全て収入済額と一致しており、不納欠損額及び収入未済額は0円であった。

表3

(単位：円・%)

款別	予算現額	収入済額	執行率	前年度決算額	対前年度比較	
					増減額	増減率
1 分担金及び負担金	398,974,000	398,974,426	100.0	397,664,333	1,310,093	0.3
2 使用料及び手数料	64,184,000	55,599,830	86.6	62,560,592	△ 6,960,762	△ 11.1
3 道支出金	7,000	7,000	100.0	8,400	△ 1,400	△ 16.7
4 財産収入	30,000	30,768	102.6	21,476	9,292	43.3
5 繰入金	1,000	0	0.0	0	0	-
6 繰越金	42,127,000	42,127,997	100.0	52,573,747	△ 10,445,750	△ 19.9
7 諸収入	267,000	697,773	261.3	3,247,756	△ 2,549,983	△ 78.5
計	505,590,000	497,437,794	98.4	516,076,304	△ 18,638,510	△ 3.6

(ア) 1款 分担金及び負担金

予算現額3億9,897万4千円に対し、収入済額は前年度比0.3%増の3億9,897万4,426円となった。内訳は、各構成市町村から納入されたし尿等処理負担金9,620万4千円、炭化処理負担金2億2,133万3,740円、埋立処理負担金6,352万2,686円、建設事業負担金1,791万4千円である。

(イ) 2款 使用料及び手数料

予算現額6,418万4千円に対し、収入済額は前年度比11.1%減の5,559万9,830円であった。使用料は、収入済額253万9,520円で、幌加内町が納めたし尿等処理施設使用料である。手数料は、収入済額5,306万310円で内訳は、し尿収集手数料1,274万7,570円、炭化処理手数料1,588万3,960円、埋立処理手数料2,434万8,780円、浄化槽清掃業許可申請手数料8万円である。

(ウ) 3款 道支出金

収入済額7千円は、循環資源利用促進税特別徴収義務者交付金である。

(エ) 4款 財産収入

収入済額3万768円は、利子収入である。

(オ) 5款 繰入金

予算現額1千円に対し、執行額はなかった。

(カ) 6款 繰越金

繰越金の内訳は、前年度決算剰余金が4,212万7,997円であった。

(キ) 7款 諸収入

収入済額69万7,773円は前年度比254万9,983円の減となった。主な要因は、雑入の雑品売払の減少及び北海道市町村職員退職手当組合精算還付金がなかったことに伴うものである。

イ 歳 出

歳出の款別及び項別の決算状況は、表4から表6のとおりである。

支出済額は、前年度比6.3%減の4億4,427万7,745円となった。

表4

(単位：円・%)

款 別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	前年度決算額	対前年度比較	
							増減額	増減率
1 議会費	818,000	756,596	0	61,404	92.5	638,790	117,806	18.4
2 総務費	43,545,000	43,443,080	0	101,920	99.8	47,608,449	△ 4,165,369	△ 8.7
3 衛生費	418,559,000	400,078,069	0	18,480,931	95.6	417,720,297	△ 17,642,228	△ 4.2
4 公債費	0	0	0	0	0.0	7,980,771	△ 7,980,771	皆減
5 予備費	42,668,000	0	0	42,668,000	0.0	0	0	-
計	505,590,000	444,277,745	0	61,312,255	87.9	473,948,307	△ 29,670,562	△ 6.3

(ア) 1款 議会費

支出済額は75万6,596円となった。

(イ) 2款 総務費

支出済額は、前年度比8.7%減の4,344万3,080円となった。

項別の内訳は表5のとおりである。

表5

(単位：円・%)

項 別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	前年度決算額	対前年度比較	
							増減額	増減率
1 総務管理費	43,416,000	43,320,329	0	95,671	99.8	47,470,734	△ 4,150,405	△ 8.7
2 監査委員費	129,000	122,751	0	6,249	95.2	137,715	△ 14,964	△ 10.9
計	43,545,000	43,443,080	0	101,920	99.8	47,608,449	△ 4,165,369	△ 8.7

(ウ) 3款 衛生費

支出済額は、前年度比4.2%減の4億7万8,069円となった。

項別の内訳は表6のとおりである。

表6

(単位：円・%)

項目別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	前年度決算額	対前年度比較	
							増減額	増減率
1 清掃費	418,559,000	400,078,069	0	18,480,931	95.6	417,720,297	△ 17,642,228	△ 4.2
1 し尿収集費	14,326,000	13,535,563	0	790,437	94.5	13,315,065	220,498	1.7
2 し尿処理費	89,678,000	87,078,649	0	2,599,351	97.1	104,082,735	△ 17,004,086	△ 16.3
3 炭化処理費	205,977,000	202,770,708	0	3,206,292	98.4	217,922,870	△ 15,152,162	△ 7.0
4 埋立処理費	92,230,000	80,388,677	0	11,841,323	87.2	65,167,432	15,221,245	23.4
5 ごみ処理施設建設費	16,348,000	16,304,472	0	43,528	99.7	17,232,195	△ 927,723	△ 5.4

(エ) 4款 公債費

地方債（一般廃棄物処理施設整備事業債）の元利償還が令和元年度に終了したため、令和2年度の予算計上及び執行はなかった。

(オ) 5款 予備費

予備費の充用はなかった。

ウ 実質収支に関する調書

本調書と決算書を照合審査した結果、計数は正確であることを認めた。

エ 財産に関する調書

土地、建物、物品、基金について令和2年度中の増減及び年度末現在高を確認した。内訳は表7～9のとおりである。

(ア) 公有財産

表7

区	分	元年度末 現在高	決算年度中増減高	2年度末 現在高
土地 (面積・㎡)	し尿処理施設	86,516.17	0	86,516.17
	炭化処理施設	0.00	0	0.00
	名寄地区広域最終処分場	0.00	0	0.00
建物 (延面積・㎡)	し尿処理施設	2,065.61	0	2,065.61
	炭化処理施設	2,913.10	0	2,913.10
	名寄地区広域最終処分場	613.62	0	613.62
構築物 (基・式)	衛生センター	24	0	24
	炭化センター	11	△1	10
	名寄地区広域最終処分場 (浸出水処理施設)	21	0	21
	名寄地区広域最終処分場 (埋立処分地施設)	17	0	17
機械及び装置 (式)	衛生センター	12	0	12
	炭化センター	13	0	13
	名寄地区広域最終処分場 (浸出水処理施設)	12	0	12

(イ) 物品

表8

物品 (台)	衛生センター	6	1	7
	炭化センター	6	0	6
	名寄地区広域最終処分場	2	0	2

(ウ) 基金

表9

(単位：千円)

区	分	元年度末現在高 令和2.5.31	決算年度中増減高	2年度末現在高 令和3.5.31
施設整備基金		158,021	22,031	180,052

5 むすび

令和2年度の名寄地区衛生施設事務組合一般会計の決算について、歳入総額は前年度比3.6%減の4億9,743万7,794円となり、歳出総額は6.3%減の4億4,427万7,745円となった。この結果、形式収支（歳入歳出差引額）は5,316万49円となり、翌年度へ繰越すべき財源がなかったことにより実質収支は同額となった。

令和2年度の「清掃事業年報」が作成され、組合の事業について現状が明示された。住民生活に欠かすことができない生活インフラとして、重要な役割を担っている組合の各施設は、令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大するなか、継続的に対策を行い、施設を休止することなく稼働することができた。今後もリスク管理とマネジメントの強化を図り、施設の計画的かつ安定的な運営に努めていただき、「一般廃棄物広域化基本計画（計画期間：平成25年～令和9年）」の着実な推進に努めていただきたい。

資 料

資料 1

財源別構成別比較表

(単位：円・%)

区分	年度	2年度 A		元年度 B		30年度		対前年度比較	
		決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額 A-B	増減率
一般財源	分担金及び負担金	398,974,426	80.2	397,664,333	77.1	374,915,250	74.5	1,310,093	0.3
	財産収入	30,768	0.0	21,476	0.0	20,410	0.0	9,292	43.3
	繰越金	42,127,997	8.5	52,573,747	10.2	62,811,107	12.5	△10,445,750	△ 19.9
	諸収入	697,773	0.1	3,247,756	0.6	167,760	0.0	△2,549,983	△ 78.5
	小計	441,830,964	88.8	453,507,312	87.9	437,914,527	87.0	△11,676,348	△ 2.6
特定財源	使用料及び手数料	55,599,830	11.2	62,560,592	12.1	65,342,825	13.0	△6,960,762	△ 11.1
	国庫支出金	—	—	—	—	—	—	—	—
	道支出金	7,000	0.0	8,400	0.0	0	0.0	△1,400	△ 16.7
	小計	55,606,830	11.2	62,568,992	12.1	65,342,825	13.0	△6,962,162	△ 11.1
合計		497,437,794	100.0	516,076,304	100.0	503,257,352	100.0	△18,638,510	△ 3.6

資料 2

構成市町村別負担金明細

(単位：円・%)

区分 市町村名	し尿等処理 負担金	構成比	炭化処理 負担金	構成比	埋立処理 負担金	構成比	建設事業 負担金	構成比	合計	構成比
名寄市	63,945,000	66.5	173,006,960	78.2	36,366,326	57.2	10,909,000	60.9	284,227,286	71.2
美深町	17,176,000	17.9	24,027,150	10.9	9,914,510	15.6	2,877,000	16.1	53,994,660	13.5
下川町	12,059,000	12.5	20,257,630	9.2	9,446,760	14.9	2,510,000	14.0	44,273,390	11.1
音威子府村	3,024,000	3.1	4,042,000	1.8	7,795,090	12.3	1,618,000	9.0	16,479,090	4.1
計	96,204,000	100.0	221,333,740	100.0	63,522,686	100.0	17,914,000	100.0	398,974,426	100.0

構成比率の算出については、小数点第2位を四捨五入しているため累計値と一致しない場合がある。

(注) 1 し尿等処理負担金の構成比

施設割：平成27年国勢調査人口

実績割：し尿・浄化槽汚泥搬入量実績(平成31年1月～令和元年12月)

その他：児童手当、公費負担

2 炭化処理負担金の構成比

施設割：均等割15% + 人口割85%(平成27年国勢調査人口)

実績割：炭化対象ごみ搬入量実績(平成31年1月～令和元年12月)

その他：児童手当、自己搬入手数料

3 埋立処理負担金の構成比

施設割：均等割30% + 人口割70%(平成27年国勢調査人口)

実績割：均等割30% + 実績割70%

その他：児童手当、自己搬入手数料、内淵水処理施設設備電気料

4 建設事業負担金の構成比

施設割：均等割30% + 人口割70%(平成27年国勢調査人口)